

グルタチオン注射説明および同意書

グルタチオン注射について、以下の説明を十分に理解していただいた上で、グルタチオンを注射することに同意されるか否かを、担当医師にお伝えください。

1. グルタチオンの主な作用

- ・体内の活性酸素、過酸化脂質などを除去し体の酸化を防ぎます。
- ・妊娠中毒、薬物中毒、慢性肝炎などに対し解毒作用により改善が得られます。
- ・体内の活性酸素を除去し癌の発生予防に効果があります。
- ・細胞内の毒物排泄、活性酸素の除去により、細胞を活性化させる働きがあり近年ではアンチエイジングや美容（美白）に効果があると言われてしています。

2. グルタチオン点滴が適している方

- ・ パーキンソン病

アメリカの Dr. David Perlmutter がこの治療法を広めており、パーキンソン病に対する効果は非常に高く、これはパーキンソン病の原因とされているドーパミン受容体の感受性を高めるからであろうと考えられています。さらに、グルタチオンは、セロトニン受容体の感受性も高めることで、パーキンソン病によく見られるうつ症状の改善にも有用です。

- ・ 抗がん剤（シスプラチン薬）による末梢神経障害
- ・ 化学物質過敏症
- ・ 多発性硬化症などの神経難病
- ・ 原因不明の全身倦怠感
- ・ 風邪の初期症状
- ・ 急性および慢性湿疹
- ・ 慢性肝疾患における肝機能の改善

3. 副作用について

- ・ 極稀に一過性の頭痛や吐き気がでる事がありますが、点滴終了後おさまります。
- ・ 副作用の少ないグルタチオンですが、まれに肝機能障害や低血糖発作を引き起こす例が報告されています。
- ・ 当院では高用量のグルタチオンを使用しますので、定期的な血液検査で副作用監視を行っています。

グルタチオンの効果や副作用の可能性について理解し、同意の上で注射を希望されますか？
(はい ・ いいえ)

年 月 日 本人署名 _____

グルタチオン注射 (可 ・ 否)

医師のサイン

実施場所 香川県高松市屋島西町 2490-1
かがみハーモニークリニック
院長 鏡原 康介